

大阪府議会 5月定例会

今回の府議会で最大の争点は、住民投票で反対多数となった「大阪都構想」が亡き後の枠組み。反対派の対案であった「大阪戦略調整会議」の取り扱いでした。先月号などでも問題点を挙げておきましたが、昨年9月に府議会へ上程され、審議も採決もしないまま放置していた案が、そのまま修正もなく、議案として今回の府議会へ上程されました。

これが「大阪都構想」の代案かと思うと情けなくなる内容なのですが、



総務常任委員会 議員間質疑風景

反対派は、大阪都構想の対案だと位置づけて、今回の住民投票を戦われ、結果、勝った「案」なので、我々は「ならば、そのまま出来るものならやってもらいましょう！」ということで、議案を「丸飲み」し、賛成することとしました。

まさか維新が賛成するとは思っていなかったようで、大慌てで提出し

た議案を修正するという事態に。

反対派は、大阪都構想の代案として議会に提出し、継続審議にして、有権者に対して「やった振り」をしておけば良いとの思惑。維新賛成でその思惑が崩れ、しかし原案のまま可決すれば問題が多すぎ有権者・マスコミに責められるのは分かっているので、急ぎょ、議案書の「修正」と言う名の「偽装工作」が行われました。大阪維新の会は、原案が都構想代案であり、修正案は対案ではないけれど、今はこの案しかなく、賛成して一度やってみるというスタンスで臨みました。これで二重行政解消、広域一元化が進むのかどうか、見守りたいと存じます。

その他に、「大阪戦略調整会議」の事務局となる予定であった「府市連携局」の議案の取り下げとIR（咲洲に誘致予定の統合型リゾート）関連の予算減額なども行われました。

野球に例えるなら、1回の表、維新の攻撃は、「大阪都構想」が終了し、チェンジ。現在、1回の裏、反対派の攻撃に入ったところ。維新は守り。エラーをせず三者凡退で極力早くチェンジし、2回表の維新の攻撃に向かいたいと取組を進めているところ、という感じです。

府議は、登録が必須となりました 「おおさか防災ネット」

携帯電話やスマホで「おおさか防災ネット」を登録すれば、台風等に伴う各種警報・注意報などの気象情報や市町村が発令する避難勧告等情報などを、大阪府から「防災情報メール」として配信されます。

当該市町村に所在していなくても、リアルタイムで当該市町村に発せられている防災・災害情報が入手でき、また、河川の「はん濫警戒情報」等の水防警報についても、この「防災情報メール」への登録で、深夜や外出先でもリアルタイムに情報が届きます。現在約17万人の方が、すでに登録済みです。

①「touroku@osaka-bousai.net」に空（カラ）メールを送信。



②返信されたメールから、各項目を選択して、「登録」して下さい。

土井達也ホームページ
<http://www.tdoi.net/>